

バリュー プロデュースコース

受講者募集のご案内

交通費・宿泊費自費
受講料無料

申込締切日 **6月19日(水) 17時**



技術移転に必要な知識とスキルを習得し
事業をプロデュースする力をつける

目利き人材育成プログラムとは

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)では、2002年度から大学等の研究成果の実用化を促進する人材の育成・確保のため、大学・TLO・公的研究機関・地方自治体等で産学官連携・技術移転業務に携わる人材(目利き人材)の専門能力の向上、目利き人材のネットワーク構築等を目的とした研修を実施してきました。これまで延べ約13,000名を超える方々に受講いただいています。今年度も大学等で研究開発プロジェクトの推進を行うコーディネータや研究者、URA、大学職員等の方を対象とした研修を実施します。

コースの概要

本コースでは、産学官連携に従事する方を対象に、コーディネータとして技術シーズの価値を高め、事業化に至るまでに必要なプロデュース力について学びます。実際の技術シーズをケース事例に用いて事業化のプロセスに沿って全体を俯瞰しながら、様々な分析手法を用いた多角的な検討を通じ、受講者自身の今後の技術移転活動へ役立てることをねらいとします。

2024年

7月24日(水)・25日(木)／10月9日(水)・10日(木)／12月11日(水)・12日(木)



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

JAREC

Japan
Research Community
for Science and
Technology

運営委託先 公益財団法人 全日本科学技術協会

コース概要・日程／募集定員30名 ※第1回～第6回の全回を受講された方には、修了証を授与いたします。

	概 要	日 程
第1回	産学官連携の全体俯瞰と研究成果の選別・評価 産学官連携の全体を俯瞰し、技術移転活動に必要なスキルや視点について学ぶ。 また、事業化展開を進めるためには、技術面、人物面からのリスクを把握することが必要となる。 実際の技術シーズをケース事例として用い、研究成果の取扱方針をグループで検討する。	7月24日(水) 10:00～17:00
第2回	事業化へのロードマッピング 第1回で選別・評価を実践した研究成果について、事業化への方針を議論する。研究成果の出口戦略を考え、目標達成に至るまでのプロセスについてロードマッピングを行い、事業化シナリオ策定に向けて議論を深める。	7月25日(木) 9:30～16:30
第3回	研究成果の付加価値の創出 研究成果に係わるニーズの捉え方や付加価値の創出について学ぶ。技術マーケティングの実践的手法の1つであるS-N変換法を用いて、新たな価値や市場創出の可能性を検討する。	10月9日(水) 10:00～17:00
第4回	知財戦略の検討 技術移転における知財戦略の意義と留意すべき点を学ぶ。出口戦略の検討で重要となる特許調査や収集した情報の整理等に取り組み、知財戦略の立案に向けたアプローチとしてパテントマップを作成する。	10月10日(木) 9:30～16:30
第5回	事業化シナリオの策定① 座学講義やグループ討議を通じて、事業化へ向かうシナリオの検討ポイントについて理解を深める。 また、事業化に向けての競合や提供方法、ビジネススキームなどをグループ討議で議論し、整理していく。	12月11日(水) 10:00～17:00
第6回	事業化シナリオの策定② 事業化に向けて検討すべき課題やリスク等の整理と今後取り組むべき技術開発や知財戦略等を考える。 研究者や関係者に提案する形の事業化シナリオとして取りまとめ、プレゼン形式でグループ発表する。	12月12日(木) 9:30～16:30

会 場

国立研究開発法人 科学技術振興機構
東京本部 別館 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

受講料

無 料 但し、交通費、宿泊費等については各自でご負担願います。

受講対象

大学等・企業において産学官連携・技術移転に係わり、研究推進を行う研究者やコーディネート活動に従事している方、または研究支援あるいは事業化支援を行っている方

主な講師 (五十音順)

各務 茂夫 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)
木下 裕介 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
久保 浩三 (奈良先端科学技術大学院大学 特任教授・名誉教授)
三宅 徹 (株式会社未来機械 代表取締役社長)

申込方法

下記の申込受付フォームよりお申し込みください。

https://form2.jst.go.jp/s/mekiki_value24_R6

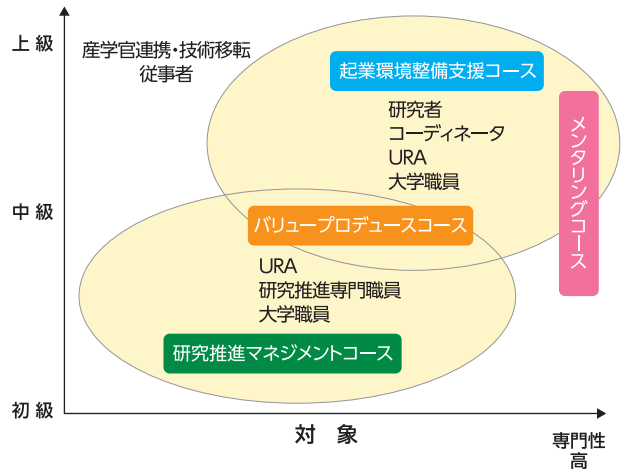
- ※申込者が募集定員を上回った場合には、所属機関、地域等に偏りのないよう調整させていただきます。ご了承の程お願いいたします。
- ※申込先着順ではありません。受講の可否は、メールでお知らせいたします。
- ※原則、第1回から第6回まで6日間全て受講いただける方が対象となります。
- ※ベーシック編とアドバンス編ならびに他のコースを同一年度で重複して受講することはできません。詳細は、目利き研修HPにてお知らせいたします。
<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/koubo/index.html>

申込受付期間

5月20日(月)～6月19日(水)17時

コースの特長

研修4コースのカリキュラム構成と位置づけ



申込はこちら

お問合せ・お申込み先

運営事務局
公益財団法人 全日本科学技術協会 (JAREC)
バリュープロデュースコース
担当:大門・麻生・大谷 TEL:03-3831-5911
E-mail: value24@jarec.or.jp

主 催
国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
人財部 科学技術イノベーション人材育成室
<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/index.html>
E-mail: mekiki@jst.go.jp